

軽井沢新聞

8/10

August
2016編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語

一般財団法人軽井沢会
軽井沢国際テニストーナメント委員長

金子 義明 さん

軽井沢のテニス発祥の歴史に
すばらしさを再認識

1999年から17年間務めた軽井沢会のテニス部長を5月に勇退した。テニス部は発足から今年で100年。次の世代に向か「伝統を壊さない程度に、新しいことを取り入れていくのもいいと思います。勝敗も大切だけど、最後はにこやかに握手で終わる姿勢は、ずっと大事にしてほしい」。

テニス歴は中学1年で始めてから60年。数々の対戦経験の中で印象に残っているのは、負けて悔しい思いをした試合ばかり。勝った試合では、学習院の一年後輩の黒川光博さん(虎屋17代当主)と組んで、当時の皇太子殿下と正田修さん(日清製粉グループ名誉会長相談役)ペアと対戦したのが思い出深い。

「コートに入るとときに先輩から『勝ってもいいからしっかりやれ』と言われ、気が引き締まりましたね」

軽井沢会主催の「軽井沢国際テニストーナメント(軽トー)」の100年を記念し、5月に六本木で記念展示会を開いた。天皇皇后両陛下並びに皇太子殿下、秋篠宮殿下から、パネルや優勝カップなど貴重な品々を出展頂いた。「天皇皇后両陛下にご幸頂きました。とても熱心に、懐かしそうに、ご覧になられました」。

12月の発行に向け、テニス部の歩みを記した記念誌を制作中。戦前のテニス雑誌『ローンテニス』などで歴史を調べていると、軽井沢では1900~01(明治33~34)年には既に、外国人と日本人が一緒にテニスを楽しんでいたことがわかった。「日本最古のテニスクラブ(現在の横浜インターナショナルテニスコミュニティ)も、戦前までは外国人専用でした。軽井沢では、宣教師が日本人にも門戸を開いたのでしょう。すばらしい歴史だと思います」

日本鋼管(NKK、現JFE)に勤務し、鉄の製造に必要な鉄鉱石などの買い付けにあたった。定年後は医師の父が立ち上げた「同仁記念会明和病院」(東京都千代田区)の会長に就いている。

軽井沢ではゴルフも楽しむ。かつて、雲場池近くにあったベビーゴルフ(パターゴルフ)に小学生の頃から馴れ親しんだため、パートの腕前には自信があったが、「年とともにスコアも落ちてね。当時みたいに入れればいいんだけど…」

軽トーのディレクターも今まで。これからはただ純粋に楽しく、スポーツと向き合う日々が始まる。

「ルグラン軽井沢」
通り沿いにオープンテラスがあるホテル

珍しい露天風呂を備えた大浴場も設けた。ベルーナの安野清代表取締役社長は「落ち着いたシンプルなホテル。お客様に喜んでもらえるよう取り組んでいきたい」と話した。

ホテル事業を展開する「森トラスト・ホテルズ&リゾーツ」は「ラフォーレ俱楽部ホテル中軽井沢」を全面改装し、長野県内初の外資系ホテル「軽井沢マリオットホテル」を29日開業。約12000m²の敷地に、ホテル棟とコテージ棟全86室、天然温泉、フィットネスセンターなどを備える。

1室1泊58000円。1階のレストランは宿泊客以外も利用可能で、信州の川魚や熟成肉のグリル、サラダやデザートのビュッフェなどを提供。「マリオットホテル」のメンバーは世界に約5400万人。異陽一支配人は「マリオットのブランドを発信し、軽

7月末、軽井沢町では大型ホテルの開業が相次いだ。外国人観光客の増加で冬場の集客もある程度見込めることが、新幹線延伸で北陸とのアクセスが良くなつたことなどが背景にあると見られる。

通販大手ベルーナのグループ会社、グランベルホテルが運営する軽井沢本通りのホテル「ルグラン軽井沢」は29日オープン。部屋は4タイプで計43室。1室1泊35000円。宿泊客以外も利用できるレストランやカフェ、バーがあり、旧軽井沢エリアでは珍しい露天風呂を備えた大浴場も設けた。ベルーナの安野

清代表取締役社長は「落ち着いたシンプルなホテル。お客様に喜んでもらえるよう取り組んでいきたい」と話した。

ホテル事業を展開する「森トラスト・ホテルズ&リゾーツ」は「ラフォーレ俱楽部ホテル中軽井沢」を全面改装し、長野県内初の外資系ホテル「軽井沢マリオットホテル」を29日開業。約12000m²の敷地に、ホテル棟とコテージ棟全86室、天然温泉、フィットネスセンターなどを備える。

1室1泊58000円。1階のレストランは宿泊客以外も利用可能で、信州の川魚や熟成肉のグリル、サラダやデザートのビュッフェなどを提供。「マリオットホテル」のメンバーは世界に約5400万人。異陽一支配人は「マリオットのブランドを発信し、軽

井沢を訪れたことのない方も、良さを体験してもらいたい」と話した。

追分の御影用水に面した「レジナリゾート軽井沢御影用水」は、東京建物リゾートが運営する愛犬同伴可能なホテル。全26室で、1階の客室には全て天然芝のプライベートドッグランを整備。犬と一緒に食事できるフレンチレストランもある(宿泊客のみ利用可)。1室1泊17000円。

井沢を訪れたことのない方も、良さを体験してもらいたい」と話した。

「ルグラン軽井沢御影用水」は、東京建物リゾートが向かなかつた人からも注目が集まれば、軽井沢エリア全体のパワーは上がる」と期待を込めた。

建設中の大型ホテルも

ベルーナの関連会社リポワールは、発地の八風湖近くに「八風湖ホテル(仮称)」を開業予定。「小さな村」をコンセプトに、敷地約23万m²の浅間山を見渡せる傾斜地に、クラシックな外観のホテル本棟、浴室棟、レストラン棟、コテージなどを点在させ、客室数は54室を予定。7月末現在、整地、温泉の掘削作業が完了、9月から建物の建設に着手する。安野社長は「スタイルの大きい、幻想的かつ神秘的なホテルにしたい」と展望を語った。

ベルーナの関連会社リポワールは、発地の八風湖近くに「八風湖ホテル(仮称)」を開業予定。「小さな村」をコンセプトに、敷地約23万m²の浅間山を見渡せる傾斜地に、クラシックな外観のホテル本棟、浴室棟、レストラン棟、コテージなどを点在させ、客室数は54室を予定。7月末現在、整地、温泉の掘削作業が完了、9月から建物の建設に着手する。安野社長は「スタイルの大きい、幻想的かつ神秘的なホテルにしたい」と展望を語った。

東急不動産は18年7月の開業を目指し、塩沢に会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」を建設中。約5万m²の敷地に、鉄筋コンクリート造で地上2階地下2階建ての建物を整備。総客室は176室。ペットと宿泊できる部屋もあり、館内にはレストランや露天風呂付きの大浴場、屋内プ

天風呂付きの大浴場、屋内プ

天風呂付きの大浴場、屋内プ